

令和3年第1回定例会

令和2年度補正予算（案）の概要（追加送付分）

第1回定例会では、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、市内事業者の事業継続を支えることを目的とした「事業継続支援事業費」、「宿泊業事業継続緊急支援事業費」及び「公共交通事業者等追加支援事業費」を計上したほか、感染症患者の入院などの受け入れに応じていただいた医療機関等へ、協力金を支給する「感染症患者受入医療機関等協力金支給事業費」などを計上しました。

[先議分]

会計名	補正予算額
一般会計	4億6,356万9千円

【補正予算の主な内容】

◇新型コロナウイルス感染症対策関連予算

◀「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」活用事業（市独自）▶

公共交通事業者等追加支援事業費【繰越明許費】 2,550万6千円
(繰越明許費 2,550万6千円)

交通事業者等の事業継続を支えるため、業態や規模に応じて支援金を追加支給

- ・支給対象：市内に本社又は営業所を置く、路線バス、貸切バス、法人・個人タクシー事業者
- ・支給要件：令和2年11月～令和3年3月のいずれかの月の売上げが前年同月比30%以上減少している事業者

離職者支援給付金支給事業費【繰越明許費】 385万円
(繰越明許費 485万円)

(3臨) 1,875万円 → (補正後) 2,260万円
対象期間の延長に伴う支出見込額の増

変更前	変更後
令和2年3月1日から 12月31日までの間に離職	令和2年3月1日から 令和3年3月31日までの間に離職

- ・申請期間：(現行継続) ～令和3年4月30日
- ・本給付金を既に受給した者は対象外

ふれあいパス郵送交付関係事業費 581万7千円

3密対策のため、令和3年度ふれあいパス（バス利用分）の郵送交付を実施

クラスター対策事業費【繰越明許費】 **289万6千円**
(繰越明許費 289万6千円)

(4定) 341万2千円 → (補正後) 630万8千円
クラスター発生等の影響による宿泊療養施設への職員派遣回数増加や、
自宅療養者への訪問診療等に係る経費の増
※補正総額 1,718万円 (うち令和3年度計上分 1,428万4千円)

感染症患者受入医療機関等協力金支給事業費 **9,256万円**

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、入院などの受け入れに応じて
いただいた医療機関等へ、協力金を支給
・支給先：石橋病院、小樽協会病院、済生会小樽病院等

介護保険事業所感染症患者療養受入経費補助金 **240万円**

事業所において、新型コロナウイルスに感染した利用者等を、
安全な環境で療養させるために受け入れた際の利用料などについて助成

事業継続支援事業費【繰越明許費】 **2億7,200万円**
(繰越明許費 2億7,200万円)

市内事業者の事業継続を支えるため、前年売上金額に応じて支援金を支給
(宿泊業、公共交通事業者は対象外)

- ・支給要件：①市内で週5日以上、通年で事業を実施している事業者
- ②必要な許認可を受けている事業者
- ③新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年11月～令和3年3月までのいずれかの月の売上げが前年同月比30%以上減少している事業者
- ④感染拡大防止に取り組んでいる事業者

※補正総額 4億8,700万円 (うち令和3年度計上分 2億1,500万円)

宿泊業事業継続緊急支援事業費【繰越明許費】 **5,570万円**
(繰越明許費 5,570万円)

市内宿泊事業者の事業継続を支えるため、業態や規模に応じて支援金を支給

- ・支給要件：①令和2年11月～令和3年3月までのいずれかの月の売上げが前年同月比30%以上減少している事業者
(ラブホテルは対象外)
- ②令和3年2月1日で営業(許可・届出)している宿泊事業者

宿泊施設誘客促進追加事業費補助金【繰越明許費】 **284万円**
(繰越明許費 284万円)

(4定) 3,500万円 → (補正後) 3,784万円
対象事業者の増加に伴う総事業費の増

[通常分]

会 計 名	補正予算額
一 般 会 計	△5,670万1千円

【補正予算の主な内容】

◇新型コロナウイルス感染症対策関連予算

◀「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」活用事業（市独自）▶

◆新規・増額

感染拡大防止対策事業費 458万円

（2臨）132万円 →（補正後）590万円
 庁舎内の消毒作業に係る経費等の増

感染症患者宿泊療養施設等移送事業費【繰越明許費】 490万5千円

（繰越明許費 490万5千円）
 （4定）1,154万8千円 →（補正後）1,645万3千円
 クラスター発生等の影響による移送見込回数の増加に伴う増
 ※補正総額 850万円（うち令和3年度計上分 359万5千円）

感染症対応医療機関支援事業費補助金【繰越明許費】 1,674万円

（繰越明許費 1,674万円）
 （2定）710万5千円 →（補正後）2,384万5千円
 クラスター発生等の影響に伴い、感染症患者のケアに従事する医師や
 看護師等に支給する手当の増
 ・支給先：小樽協会病院、済生会小樽病院、石橋病院

雇用調整助成金等活用促進補助金【繰越明許費】 200万円

（繰越明許費 200万円）
 （1臨）1,000万円 →（補正後）1,200万円
 国の休業対象期間の延長への対応に伴う支出見込額の増

観光情報海外発信事業費補助金 110万円

多言語対応型のウェブサイトを構築し、海外へ向けた
 観光情報発信事業へ助成
 ・助成先：（一社）小樽観光協会

体験型観光誘客促進事業費補助金 70万円

市内のアクティビティや温泉等を楽しむ体験型の動画を
 作成し、小樽の魅力を発信する観光誘客事業へ助成
 ・助成先：（一社）小樽観光協会

学校教育活動継続支援事業費【繰越明許費】

感染防止のために必要な消耗品等の購入や、教職員の感染症対策などに資する研修等を支援するほか家庭における効果的な学習のための教材を購入

・ 小学校費 1, 560万円
(繰越明許費 1,560万円)

・ 中学校費 1, 000万円
(繰越明許費 1,000万円)

修学旅行等キャンセル料支援事業費 284万4千円

保護者の経済的な負担軽減を図るため、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止又は延期した修学旅行等に係るキャンセル料等を負担

図書貸出窓口拡充事業費【繰越明許費】 35万円 (繰越明許費 35万円)

3密対策のため、予約図書の受取窓口を拡充し、市内3サービスセンターにおいても実施

◆その他

議会ICT推進事業費 Δ50万円
(3定) 750万円 → (補正後) 700万円

業務オンライン化関係システム整備事業費 Δ170万円
(3定) 1,300万円 → (補正後) 1,130万円

ウィズコロナ移住促進事業費【繰越明許費】 —
(繰越明許費 931万3千円)

小樽文化遺産情報発信・普及啓発事業費 Δ1万4千円
(2臨) 1,000万円 → (補正後) 998万6千円

除菌電解水配布事業費 Δ7万8千円
(2定) 160万円 → (補正後) 152万2千円

身体障害者福祉センター施設関係経費(検温アラームシステム整備事業費) Δ26万円
(2定) 35万円 → (補正後) 9万円

障害福祉施設事業継続支援事業費 (2定) 1,236万円 → (補正後) 1,143万6千円	△92万4千円
介護保険施設事業継続支援事業費 (2臨) 3,052万円 → (補正後) 2,876万3千円	△175万7千円
検温アラームシステム整備事業費(総合福祉センター費) (2臨) 35万円 → (補正後) 9万円	△26万円
ひとり親家庭等生活支援金給付事業費 (1臨) 1,519万4千円 → (補正後) 1,439万4千円	△80万円
児童福祉施設事業継続支援事業費 (2臨) 494万円 → (補正後) 492万2千円	△1万8千円
児童福祉施設等職員慰労金支給事業費 (3臨) 3,840万1千円 → (補正後) 3,830万1千円	△10万円
新生児臨時給付金支給事業費【繰越明許費】 (3臨) 710万円 → (補正後) 390万円	△320万円 (繰越明許費△320万円)
市民会館・公会堂・市民センター施設関係経費(検温アラームシステム整備事業費) (2臨) 254万6千円 → (補正後) 209万円	△45万6千円
銭函市民センター施設関係経費(検温アラームシステム整備事業費) (2臨) 35万円 → (補正後) 11万1千円	△23万9千円
いなきたコミュニティセンター施設関係経費(検温アラームシステム整備事業費) (2臨) 35万円 → (補正後) 11万1千円	△23万9千円

検温アラームシステム整備事業費（火葬場費） （2 臨）85 万 8 千円 →（補正後）50 万 2 千円	△ 3 5 万 6 千円
保健所体制強化事業費 （3 定）3,800 万円 →（補正後）3,729 万 6 千円	△ 7 0 万 4 千円
通信設備改修事業費	△ 1 5 万円
車両購入費	△ 1 6 万 3 千円
庁舎施設改修事業費	△ 3 9 万 1 千円
医療専門学校オンライン化事業費補助金 （3 定）1,000 万円 →（補正後）700 万円	△ 3 0 0 万円
検査室環境整備事業費 （5 定通常）5,095 万 1 千円 →（補正後）5,076 万 4 千円	△ 1 8 万 7 千円
感染症医療物資備蓄事業費 （2 臨）4,300 万円 →（補正後）4,297 万 2 千円	△ 2 万 8 千円
新型コロナウイルス感染症拡大防止啓発事業費 （3 定）150 万円 →（補正後）90 万 3 千円	△ 5 9 万 7 千円
検温アラームシステム整備事業費（勤労青少年ホーム費） （2 臨）25 万円 →（補正後）11 万 1 千円	△ 1 3 万 9 千円
放課後児童健全育成事業費（通信機器整備事業費） （勤労女性センター費） （3 定）20 万円 →（補正後）14 万円	△ 6 万円
検温アラームシステム整備事業費（勤労女性センター費） （2 臨）25 万円 →（補正後）9 万円	△ 1 6 万円
まるごと小樽プレミアム付商品券事業費 （3 定）7 億円 →（補正後）6 億 8,400 万円	△ 1, 6 0 0 万円

小売業等事業継続支援事業費 (4定) 1億4,909万8千円 → (補正後) 1億4,909万6千円	△2千円
飲食・商店街等市民応援事業費 (2定) 1億500万円 → (補正後) 1億93万6千円	△406万4千円
飲食店応援クーポン事業費	△217万8千円
商店街応援商品券事業費補助金	△105万7千円
小樽産品宅配システム支援事業費補助金	△82万9千円
製造業等事業継続支援事業費 (4定) 6,501万円 → (補正後) 6,490万4千円	△10万6千円
新型コロナウイルス感染症対応促進事業費 (4定) 2億4,050万円 → (補正後) 2億3,010万円	△1,040万円
冬季イベント開催事業費補助金 (3定) 1,000万円 → (補正後) 878万2千円	△121万8千円
観光物産プラザ管理運営経費 (検温アラームシステム整備事業費) (2臨) 144万8千円 → (補正後) 122万1千円	△22万7千円
観光需要復興支援事業費 (宿泊施設市民応援キャンペーン事業費) (2定) 1,200万円 → (補正後) 978万6千円	△221万4千円
宿泊施設誘客促進事業費補助金 (2臨) 6,000万円 → (補正後) 3,210万円	△2,790万円
青年会議所補助金 (3定) 50万円 → (補正後) 13万4千円	△36万6千円

都市公園手洗い整備事業費 (3定) 300万円 → (補正後) 242万円	△58万円
フェリー航路利用者感染防止対策支援事業費補助金 (3定) 130万円 → (補正後) 106万9千円	△23万1千円
消防職員感染防止対策事業費 (4定) 369万円 → (補正後) 314万円	△55万円
新型コロナウイルス等感染防止資機材整備事業費 (3定) 1,026万9千円 → (補正後) 839万4千円	△187万5千円
検査業務資器材整備事業費 (3定) 100万円 → (補正後) 74万円	△26万円
新型コロナウイルス感染症等患者移送車両整備事業費【繰越明許費】 (3定) 5,023万1千円 → (補正後) 4,983万円	△40万1千円 (繰越明許費△40万1千円)
救急業務高度化推進事業費 (3定) 1,007万6千円 → (補正後) 998万8千円	△8万8千円
学校生活環境改善整備事業費【繰越明許費】	
・小学校費 (3定) 1,960万円 → (補正後) 1,770万円	△190万円 (繰越明許費△170万円)
・中学校費 (3定) 1,640万円 → (補正後) 1,500万円	△140万円 (繰越明許費△130万円)

教育情報化推進事業費	△ 2, 6 5 0 万 6 千 円
・小学校費（4定）4億1,926万5千円→（補正後）4億345万9千円	
・中学校費（4定）2億7,211万9千円→（補正後）2億6,141万9千円	
ネットワーク関係経費	△ 2 8 0 万円
小学校費	△ 1 1 0 万円
中学校費	△ 1 7 0 万円
端末導入経費	△ 2, 2 9 4 万 3 千 円
小学校費	△ 1, 4 7 0 万 6 千 円
中学校費	△ 8 2 3 万 7 千 円
遠隔学習機能強化事業費（中学校費）	△ 7 6 万 3 千 円
準要保護世帯特別給付金給付事業費	△ 5 万円
（1臨）550万円 →（補正後）545万円	
学校給食費助成事業費補助金	△ 1 4 万 4 千 円
（3定）1,300万円 →（補正後）1,285万6千円	
放課後児童健全育成事業費（慰労金支給事業費） （社会教育総務費）	△ 3 6 万円
（3定）414万円 →（補正後）378万円	
感染拡大防止対策事業費（図書館費）	△ 3 万 6 千 円
（2定）52万円 →（補正後）48万4千円	
検温アラームシステム整備事業費（図書館費）	△ 8 千 円
（2臨）25万円 →（補正後）24万2千円	
感染拡大防止対策事業費（総合博物館費）	△ 5 千 円
（2臨）50万円 →（補正後）49万5千円	

検温アラームシステム整備事業費（総合博物館費） $\Delta 3$ 万2千円
（2臨）100万円 →（補正後）96万8千円

日本遺産炭鉄港展示施設整備事業費 $\Delta 2$ 万5千円
（3定）1,900万円 →（補正後）1,897万5千円

プラネタリウム設備等整備事業費 $\Delta 1$ 94万円
（3定）1,500万円 →（補正後）1,306万円

検温アラームシステム整備事業費（美術館費） $\Delta 1$ 万6千円
（2臨）50万円 →（補正後）48万4千円

検温アラームシステム整備事業費（生涯学習プラザ費） $\Delta 8$ 千円
（2臨）25万円 →（補正後）24万2千円

感染拡大防止対策事業費（総合体育館費） $\Delta 2$ 6万円
（2臨）129万8千円 →（補正後）103万8千円

検温アラームシステム整備事業費（総合体育館費） $\Delta 5$ 7万2千円
（2臨）120万2千円 →（補正後）63万円

（そ の 他）

〔歳 入〕財政調整基金繰入金 $\Delta 1$ 億4,243万円

上記のほか、
事業費の財源振替などを予算計上しています。